

改正

平成17年 9 月28日条例第25号

平成18年 3 月29日条例第21号

平成19年10月 2 日条例第27号

平成23年 3 月18日条例第 4 号

平成26年 3 月14日条例第 4 号

平成31年 3 月20日条例第 3 号

サン・フレッシュ枕崎の設置及び管理に関する条例

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の 2 第 1 項の規定に基づき、サン・フレッシュ枕崎の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 生涯学習活動の充実による市民の福祉の増進を図るための施設として、サン・フレッシュ枕崎（以下「サン・フレッシュ」という。）を設置する。

2 サン・フレッシュは、枕崎市大塚北町53番地に置く。

(施設の管理)

第 3 条 サン・フレッシュの管理は、法第244条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であつて枕崎市教育委員会（以下「委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者は、法令、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、誠実に管理しなければならない。

3 サン・フレッシュの管理に関しては、この条例に定めのあるものを除くほか、枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例第 2 号）及び枕崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年枕崎市条例第21号）の規定を適用する。

(指定管理者が行う業務)

第 4 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) サン・フレッシュの施設の利用の承認、制限及び承認の取消しに関する業務

(2) 利用料金（法第244条の 2 第 8 項に規定する料金をいう。以下同じ。）の決定、徴収及び減

免に関する業務

(3) サン・フレッシュの施設及び附属設備の維持管理に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、サン・フレッシュの管理運営上委員会が必要と認める業務

(開館時間)

第5条 サン・フレッシュの開館時間は、午前8時30分から午後10時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、サン・フレッシュの管理運営上必要と認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第6条 サン・フレッシュの休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日であるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、サン・フレッシュの管理運営上必要と認めるときは、前項の休館日を変更することができる。

(利用の承認等)

第7条 サン・フレッシュの施設及び設備を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の承認を受けなければならない。承認された事項を変更しようとするときも、また同様とする。

2 指定管理者は、サン・フレッシュの管理運営上必要があると認めるときは、前項の承認をするに当たり、必要な条件を付けることができる。

(利用の制限)

第8条 指定管理者は、利用の目的が次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の承認をしないことができる。

(1) サン・フレッシュの設置目的又は運営方針に反すると認めるとき。

(2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。

(3) 専ら営利を目的とするものと認めるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、サン・フレッシュの管理運営上支障があると認めるとき。

(目的外利用又は権利譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、当該承認を受けた利用目的以外の目的に施設を利用し、又はその利用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(利用の承認の取消し等)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第7条第1項の承認を取り消し、又は利用の停止その他必要な措置を命ずることができる。

(1) 法令、この条例又はこれに基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 承認の内容又は条件に違反したとき。

(3) 第8条各号のいずれかに該当する事由が発生したとき。

2 前項の規定に基づく措置によって利用者に損害が生じても、市、委員会及び指定管理者は、その責めを負わないものとする。

(利用料金)

第11条 利用料金は、別表に定める額の範囲内とし、指定管理者が市長の承認を得て定める。

2 利用者は、前項に規定する利用料金の全額を指定管理者が指定する日までに前納しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、利用料金を後納することができる。

3 指定管理者は、第1項の利用料金を徴収し、当該指定管理者の収入として収受するものとする。

(利用料金の減免)

第12条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(1) 市又は市の機関が主催する事業の用に供するとき。

(2) 市又は市の機関が公共的団体と共催する行事等に利用するとき。

(3) 社会教育上適当と認める事業の用に供するとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、公益上必要と認める事業の用に供するとき。

(利用料金の不還付)

第13条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を還付することができる。

(1) 災害その他利用者の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。

(2) 利用者が利用開始日前5日までに利用の取消し又は変更を申し出た場合において、指定管理者が相当の理由があると認めたとき。

(3) 公益上又はサン・フレッシュの管理上の理由で利用できなくなったとき。

(特別の設備等)

第14条 利用者は、特別の設備等を施し、又は備付けの器具以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ指定管理者の承認を受けなければならない。

- 2 指定管理者は、施設の管理上必要があると認めるときは、利用者の負担において特別の設備を施させることができる。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、その利用を終わったとき又は利用の承認を取り消され、若しくはその利用を停止されたときは、直ちに施設、設備その他の物件を原状に復さなければならない。

- 2 利用者が前項に規定する義務を履行しないときは、指定管理者においてこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

(損害賠償)

第16条 利用者は、その利用によりサン・フレッシュの建物、設備、備品その他の物件を損傷し、汚損し、又は滅失したときは、委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、委員会が認定する損害額を賠償しなければならない。

(立入検査及び指示)

第17条 利用者は、委員会又はその指示を受けた指定管理者がサン・フレッシュの管理運営のために行う立入検査又は必要な指示に対しては、これを拒むことができない。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、サン・フレッシュの管理及び運営に関し必要な事項は、委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成16年1月1日から施行する。ただし、第18条の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においてなされた施行日以後のサン・フレッシュの利用に係る利用の承認、利用料金の納付その他の行為は、この条例の規定に基づくサン・フレッシュの利用に係る利用の承認、利用料金の納付その他の行為とみなす。

(枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例の一部改正)

- 3 枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例第2号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう略〕

附 則（平成17年9月28日条例第25号）

この条例は、平成17年11月 7 日から施行する。

附 則（平成18年 3 月29日条例第21号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成18年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 3 この条例の施行の日前にした前項の規定による改正前のサン・フレッシュ枕崎の設置及び管理に関する条例の規定による指定管理者の指定手続等の行為は、この条例の適用については、この条例の相当規定によってしたものとみなす。

附 則（平成19年10月 2 日条例第27号）

この条例は、平成19年12月 1 日から施行する。

附 則（平成23年 3 月18日条例第 4 号）

この条例は、平成23年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成26年 3 月14日条例第 4 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例（第 9 条及び第18条の規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可等に係る使用料等について適用し、施行日前の使用許可等に係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成31年 3 月20日条例第 3 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成31年10月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例（第 9 条及び第17条の規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可等に係る使用料等について適用し、施行日前の使用許可等に係る使用料等については、なお従前の例による。

別表（第11条関係）

区分	利用時間帯 収容人員 （面積）	8 時30分 ～13時	13時～17 時	17時～22 時	冷房 1 時間使 用（1 時間当	暖房 1 時間使 用（1 時間当
----	-----------------------	----------------	-------------	-------------	---------------------	---------------------

						たり加算額)	たり加算額)
多目的 ホール	可動椅子を 使用しない 場合	300人	円 (1時間 当たり) 520	円 (1時間 当たり) 780	円 (1時間 当たり) 1,040	円 2,510 (1,670)	円 3,350 (1,670)
	可動椅子を 使用する場 合	(386㎡)	(1時間 当たり) 1,040	(1時間 当たり) 1,570	(1時間 当たり) 2,090		
会議室		18人 (40㎡)	520	780	1,040	310 (210)	410 (210)
視聴覚室		42人 (92㎡)	1,040	1,570	2,090	620 (410)	830 (410)
第1音楽室		24人 (44㎡)	(1時間 当たり) 210	(1時間 当たり) 310	(1時間 当たり) 410	310 (210)	410 (210)
第2音楽室		15人 (24㎡)	(1時間 当たり) 520	(1時間 当たり) 780	(1時間 当たり) 1,040	310 (210)	410 (210)
シャワー室		1人 1回 100円					
コンセント		1個 210円					

備考

- 1 枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民以外の者が利用する場合の利用料金は、上表に掲げる区分に応じ算出して得た利用料金に5割を乗じて得た額を加算した額とする。
- 2 入場料を徴収する場合の利用料金（冷暖房、シャワー及びコンセントの利用料金を除く。）は、上表に掲げる区分に応じ算出して得た利用料金に5割を乗じて得た額を加算した額とする。
- 3 商用等に利用する場合の利用料金（冷暖房、シャワー及びコンセントの利用料金を除く。）は、上表に掲げる区分に応じ算出して得た利用料金に5割を乗じて得た額を加算した額とする。
- 4 冷暖房使用時間に1時間未満の端数があるときは1時間とみなし、その利用料金は1時間当たりの加算額とする。ただし、その端数が30分を超えないときは30分とみなし、その利用料金

は1時間当たりの加算額の2分の1の額とする。

- 5 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。